

読むと聚楽のまちが♡好き♡になる

じゅらくがっく

聚楽学区ニュース

上京区社協が発行する、コロナ禍における学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.2

Feb.2021



聚楽学区のまちづくり活動について 教えて、会長さん！

今回は、聚楽社会福祉協議会 八木 継男 会長に、コロナ禍中・コロナ禍後のまちづくり活動について、上京区社協職員がお話を伺いました。



◎コロナ禍中のまちづくり活動について

聚楽学区は、重点目標の一つが「防災の取り組みを通じた、多世代のつながりづくり」で、防災に力を入れています。

元聚楽小のプールは防災プールとして常に水が張っており、災害時には下水用の水として活用します。体育館横には、煮沸すれば飲料用にできる水道ポンプがあります。各町にも井戸が残っていて、こちらも災害時に活用できるでしょう。

避難集合場所の名和公園には、「かまどベンチ」を設置しています。通常は公園のベンチですが、災害時には座る部分を外して炊き出し用のかまどとして使うことができます。近くには手押しポンプもあります。

子育てサロン「聚楽エンジェル」は、妊婦さんや小さい子どもの移動の負担を考慮し、会場を元聚楽小1階に移動しました。

◎コロナ禍後のまちづくり活動について

聚楽エンジェルが移動したことで空いた元聚楽小2階のスペースで、麻雀教室を始められないか検討しています。麻雀は頭も使うし、手指の運動にもなる。集まりになかなか参加していただけない男性参加者も見込める。楽しみながら介護予防できて、地域の人と交流もできます。

例年、敬老会のあとに元聚楽小のプールに魚を放して魚釣り大会をしています。子どもたちより親のほうが熱中することもあるんですよ。

大切にしていきたいことは、「みんなが集まる社協づくり」「防災に強い学区づくり」。

実現には、参加したいと思える魅力的な取り組みをすることが必要です。学区のみなさんのご意見をいただきながら、いっしょにすすめていきたいですね。



聚楽学区では、3密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。



まちづくり活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。最新の活動は、上京区社協 (Tel:432-9535) までお問い合わせください。

反対側の面も、ぜひご覧ください！

